

2013 9/10

No.1954

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



座間市新田宿を中心とした「座間ひまわりまつり」が8月21日から26日まで行われ、相模川に架かる^{ざかえ}座架依橋南側の座間、新田宿、四ツ谷の3会場合わせて50万本以上のヒマワリが観光客の目を楽しませた。



視点・点描	3
気持ちに訴え躍進期す	
国際	4
エジプト、テロ激化の懸念 ムスリム同胞団を非合法化へ	
国際	6
インド経済、前途多難 巨額の経常赤字と通貨安	
経済	8
燃料電池車の開発競争激化 インフラ整備が課題	
企業最前線	10
タッチパネル市場急拡大 関連メーカー、生産能力増強	
くらし2013	12
爪のおしゃれに落とし穴	
広告珍談	14
～うまい物がたり②② 知ったかぶり！	
NNAアジア経済レポート	15

事務局だより

◇横浜定例講演会

2013年9月13日（金）

13時30分～15時

ホテルモントレ横浜

講師は日本銀行横浜支店長の
竹澤 秀樹 氏

演題は「最近の金融経済情勢
について」

◇横浜定例講演会

2013年10月3日（木）

14時～15時30分

横浜情報文化センター情文
ホール

講師はヤマトホールディング
ス株式会社代表取締役社長の
木川 眞 氏

演題は「人と人を結ぶまごこ
ろ宅急便～クロネコヤマトの
満足創造経営」

視点 点描



気持ちに訴え躍進期す

各都道府県のスポーツ力を競う国民体育大会、いわゆる国体の今年の開催地をご存じだろうか。正解は「東京」。都内で「スポーツ祭東京2013」のバナーなどをご覧になった方も多いだろう。2020年五輪招致活動の一方で、国体開催の準備も進めている。本大会は9月28日に総合開会式が行われ、10月8日までの11日間の日程で行われる。ただ、水泳とボ-

トは会期前開催として9月11〜15日に行われる。正式競技37競技の順位に基づいた得点で優勝を争う。この東京国体で神奈川が目指すのはズバリ2位。控えめに聞こえるかもしれないが、なかなか取れなかった順位なのだ。2度目の神奈川国体が開かれた1998年以降の成績を見ると、関東で開かれた埼玉、千葉国体の3位はあるが、2位に入るのは難しかった。

ともそも国体は、すべての競技にエントリーできる開催地が圧倒的に有利。64年の新潟国体からは2002年の高知国体以外、開催地の優勝が続いている。そのため選手強化の手法が批判されたこともあった。だが、国体を行うことで開催地に高いレベルの競技力が普及するのは事実で、開催地優勝の伝統が継承されないと、日本の競技力にも関わる。

というわけで、優勝が開催地なら、2位はほぼ東京の指定席だった。ところが今回は東京開催。2位争いが激しくなる。

3月に県内40競技団体の幹部を集め、県体育協会が異例の激励式を開いた。ロサンゼルス五輪柔道男子無差別級金メダ

リストの山下泰裕県体協会会長が「二丸となれば2位は十分可能。神奈川の底力を見せてほしい」と檄を飛ばした。スケートやスキートの冬季大会を終え、神奈川は天皇杯と言われる男女総合成績で5位につけた。強化予算は例年通りだが、気持ちに訴える作戦が奏功するか。「チーム神奈川」といわれる神奈川選手団の活躍に注目してほしい。

(神奈川新聞社運動部長

岡部 伸康)

	開催地	優勝	神奈川	東京
1998	神奈川	神奈川	優勝	2位
99	熊本	熊本	8位	3位
2000	富山	富山	4位	2位
01	宮城	宮城	5位	2位
02	高知	高知	4位	優勝
03	静岡	静岡	7位	3位
04	埼玉	埼玉	3位	2位
05	岡山	岡山	10位	2位
06	兵庫	兵庫	6位	5位
07	秋田	秋田	4位	2位
08	新潟	新潟	4位	2位
09	千葉	千葉	5位	2位
10	山口	山口	3位	2位
11	山梨	山梨	6位	2位
12	岐阜	岐阜	6位	2位
13	東京	?	?	?

知ったかぶり!

世の中、知ったかぶりするヤツが多い。

微にいり細にいり、したり顔でもの申すヤツ。こんなことも知らないのかと、しゃべりまくるヤツ。それが酒のことになると、さらけうるさくなつてかなわない。なかでもワイン。ますます頭につてくる。ほんとうに知ってるのか、分かつてるのかと怒鳴りたくなることもしばしば。

ヤツらの聞きかじりではどうにもならんと、辞書をひいてみた。ワインとは葡萄酒のこと。有史以前、ギリシャ・ローマを経てヨーロッパに広まった、とある。そうなればこつちのもんだ。

ドイツはミュンヘンの古代美術館に《ディオニソスの航海》という、大きく平たいサカズキがある。

直径30センチ、古代ギリシャの黒絵式という陶器。内面をブドウ色にぬつて、黒い絵の具で大きく船が描かれ、帆に風を

いっばい受けて進んでいく。まわりに7尾のイルカが泳いでいる。帆柱から延びているのはブドウの木。たわわにブドウの房……。

ディオニソスとはバッカスのこと、ギリシャ神話の酒の神さまである。その神さまが船に乗つて、世界中にブドウとワインを広めようと航海する場面である。紀元前

540年ころ、エキセキアスが作った。古代といえども実在していた陶画家、彼の代表作である。「キュリクス」と呼ばれる洗面器のように大きなサカズキを、両手でささげてワインを豪快に飲む。さぞ、うまかつたらうな。



聞記事にも著作権はあるはずだけど……。広告の作者は、オラガビールの広告(1939号に掲載した)も作った寿屋の宣伝部長・片岡敏郎というセコイ人。

ポートワイン、Port Wineとは、ポルトガルの北部でつくられたアルコール分がつよい葡萄酒。ポルトガルの港町ポルトから積み出されたことに由来すると、字引にある。どうやらディオニソスは、ギリシャから地中海をはるばるポルトガルまで行つたらしい。もつともポートワインは甘口。そんなに甘いワインでは、バックサさまはお気に召さない。なにしろ神さまには女性の信奉者がわんさといて、辛口で日夜、ランチキ騒ぎ。バッカリーナという彼女たちも、ギリシャ神話に書かれて

はて、右の広告をご覧あれ。1920(大正9)年1月に掲載された全ページ広告(と思う)。記事の上に、「赤玉ポートワイン」と、いったいいつの記事なんだろう(どなたか教えて下さい)。新

いる。絵もいっばいある。(美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住)(図) 赤玉ポートワインの広告・1920(大正9)年掲出